

平成16年度定期作況報告

<11月20日最終報告>
道南農業試験場

1 気象

本年の根雪終日は3月11日で平年より3日早く、晩霜は4月26日で平年より9日早かった。

4月：気温は、上・下旬が平年より低く、平均気温は平年を0.6 下回った。降水量は上旬が少なく、平年の93%、日照時間は上旬が多く、平年の104%であった。

5月：気温は中旬が高く、平均気温は平年より0.4 高かった。降水量は下旬が多かったため、平年の124%であった。日照時間は上旬が多く中旬が少なく、平年の105%であった。

6月：気温は高く、平均気温は平年より1.4 高かった。降水量は中旬が少なく、下旬が多く、平年の116%であった。日照時間は上・中旬が多く、下旬が非常に少なく、平年の111%であった。

7月：気温は下旬が高く、平均気温で平年を0.8 上回った。降水量は上旬が多かったため、平年の138%、日照時間は上・下旬が多く、中旬が少なく、平年の150%であった。

8月：気温は上旬は高く、中・下旬は低く、平均気温で平年を0.4 下回った。降水量は上・下旬が少なく、中旬が多く、平年の86%であった。日照時間は多く、平年の147%であった。

9月：気温はやや低く、平均気温で平年を0.4 下回った。降水量は上旬が少なく、中・下旬が多く、平年の127%であった。日照時間は中旬が多く、下旬が少なく、平年の97%であった。

10月：気温は、上・中旬が高く、下旬が低かった。平均気温は平年並であった。降水量は少なく、平年の39%であった。日照時間は上・下旬が少なく、平年の78%であった。

本年の初霜は10月17日で平年並、初雪は11月15日で平年より13日遅かった。

以上、農耕期間の気象についてまとめると、本年の気温は、8月上旬までは高温傾向で、それ以降は低温で推移した。降水量は全般に多く、特に7月上旬、8月中旬、9月中・下旬が多かった。日照時間も全般に多く、6月中旬、7月下旬が多かった。5月から9月の積算では、平年に比べて、積算温度(平年 2615)は 59 高く、降水量(平年642mm)は 97mm多く、日照時間(平年615hr)は 115時間多かった。

気象表

月旬	平均気温			最高気温			最低気温			降水量mm			日照時間hr		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
4上	4.2	4.7	0.5	8.9	9.1	0.2	-0.5	0.2	0.7	9.0	13.6	4.6	62.9	55.2	7.7
中	7.4	6.7	0.7	12.9	11.5	1.4	1.7	2.1	0.4	25.0	24.4	0.6	54.7	56.1	1.4
下	6.9	9.0	2.1	11.0	13.9	2.9	2.9	3.8	0.9	23.0	23.3	0.3	55.7	56.0	0.3
5上	9.9	9.9	0.0	15.3	14.6	0.7	4.8	5.1	0.3	52.0	49.8	2.2	66.5	50.3	16.2
中	12.8	11.4	1.4	17.8	15.9	1.9	8.6	6.8	1.8	20.0	18.2	1.8	37.1	44.6	7.5
下	13.2	13.2	0.0	18.0	17.8	0.2	9.4	9.0	0.4	57.0	36.0	21.0	51.3	52.5	1.2
6上	15.6	13.7	1.9	21.6	18.1	3.5	10.2	9.5	0.7	18.0	19.3	1.3	62.9	50.5	12.4
中	16.9	15.6	1.3	22.2	19.8	2.4	11.8	11.8	0.0	18.0	26.9	8.9	77.7	46.1	31.6
下	17.7	16.5	1.2	21.5	20.2	1.3	15.0	13.2	1.8	55.0	32.4	22.6	9.3	38.8	29.5
7上	18.0	18.0	0.0	21.8	21.1	0.7	14.1	15.3	1.2	85.0	47.8	37.2	35.8	18.0	17.9
中	19.5	19.7	0.2	22.9	23.4	0.5	16.8	16.5	0.3	38.0	37.2	0.8	16.7	35.4	18.7
下	23.6	21.2	2.4	28.5	24.9	3.6	19.0	18.2	0.8	39.0	32.7	6.3	89.0	40.8	48.2
8上	24.4	21.8	2.6	29.2	25.2	4.0	20.5	18.9	1.6	20.0	68.7	48.7	49.3	33.0	16.3
中	19.4	21.0	1.6	23.8	24.4	0.6	15.1	17.8	2.7	87.0	43.1	43.9	38.3	32.8	5.5
下	18.7	20.7	2.0	24.0	24.6	0.6	13.7	17.1	3.4	56.0	77.4	21.4	67.1	39.4	27.7
9上	18.8	19.6	0.8	24.0	23.8	0.2	13.8	15.5	1.7	20.0	41.6	21.6	48.7	49.2	0.5
中	17.3	17.8	0.5	22.4	21.9	0.5	12.1	13.5	1.4	89.0	59.4	29.6	49.2	35.9	13.3
下	16.0	15.9	0.1	19.8	20.5	0.7	12.4	11.3	1.1	85.0	51.7	33.3	30.8	47.4	16.6
10上	14.5	13.5	1.0	18.8	18.1	0.7	10.4	8.8	1.6	18.0	44.5	26.5	33.9	48.3	14.4
中	12.3	11.4	0.9	17.1	16.3	0.8	5.8	6.4	0.6	12.0	33.6	21.6	56.1	51.1	5.0
下	7.2	9.6	2.4	12.5	14.4	1.9	2.0	4.7	2.7	13.0	32.0	19.0	30.5	54.4	23.9

注1)観測値は大野のアメダスデータを使用。

注2)平年値は前10カ年の大野のアメダスデータを使用し道南農試作成。

注3)「平均又は合計」は道南農試作成。

注4)表中 印は低又は少を示す。

季節調査(年.月.日)

区別	根雪始	根雪終日	降雪終日	耕鋤始	晩 霜	初 霜	降雪始
本年	15.12.25	16.3.11	16.4.25	16.4. 9	16.4.26	16.10.17	16.11.15
平年	12.15	3.14	4.13	4.10	5. 5	10.17	11. 2

注1)函館海洋气象台(函館市美原)の観測値及び平年値。(統計期間 霜・降雪 1873～2000年、根雪 1891～2000年)

注2)耕鋤始は農試データ。

農耕期間積算値(5～9月)

区別	平均気温()	降水量(mm)	日照時間(hr)
本年	2674	739	730
平年	2615	642	615

注:本年値は大野のアメダスデータを使用し農試で作成。平年値は前10カ年の大野のアメダスデータを使用し農試で作成。

2 当场作況

水稲 平年並

播種は平年より1日遅い4月19日に行った。4月下旬は低温に経過したため、出芽に要した日数は平年より1日多く、その後の生育も緩慢であった。5月上旬は好天に恵まれ生育は順調であった。5月中旬は夜温が高く日照時間がやや少なかったため徒長傾向となり、移植時の苗の地上部乾物重は平年を下回った。

5月20日に移植を行った。移植直後の気温が低かったため活着はやや遅れ、植傷みが目立った。しかし、その後的高温多照により生育は回復し、幼穂形成期は「きらら397」で5日、「ほしのゆめ」で4日、平年より早かった。止葉期も平年と比較して「きらら397」が4日、「ほしのゆめ」が3日早かった。その後も好天に恵まれ、生育はさらに早まり、出穂期が「きらら397」で6日、「ほしのゆめ」で4日、平年より早かった。出穂後8月上旬までは気温が高く登熟が順調に進んだものの、8月中旬以降の低温により登熟は緩慢となった。さらに、台風(15、16、18号)の影響による、なびき倒伏および止葉の葉先枯れのため登熟は停滞した。しかし、9月中旬は、日照時間がやや多く、これに伴い登熟が進み、成熟期は平年と比べ「きらら397」で3日、「ほしのゆめ」で1日早かった。登熟日数は両品種とも平年より3日長かった。

成熟期における各形質は、両品種とも稈長、穂長は平年よりやや短く、穂数が平年並であった。また、台風18号による強風の影響で、脱粒が発生し、一穂粒数は平年より少なかった。このため、総粒数は平年より少なく、「きらら397」で平年の91%、「ほしのゆめ」は平年の96%であった。しかし、不稔歩合が「きらら397」は7.1%、「ほしのゆめ」が4.2%と両品種とも平年より少なく、稔実粒数は概ね平年並となった。また、登熟歩合が高く、屑米が平年の5割以下と少なかったため、精玄米重は「きらら397」「ほしのゆめ」とも51.6kg/aでそれぞれ平年の97%、102%であった。玄米検査等級は整粒不足のため、平年を下回り「きらら397」「ほしのゆめ」とも2等であった。

本年は総粒数は少なかったが、稔実歩合・登熟歩合とも高かったため、平年並みの収量が得られたものと考えられる。

以上のことから、本年の作況は「平年並」である。

生育及び収量調査成績

項 目	きらら397(中苗)			ほしのゆめ(中苗)			(参)渡育240号(中苗)			
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
播 種 期(月日)	4.19	4.18	1	4.19	4.18	1	4.19	(4.20)	-	
移 植 期(月日)	5.20	5.20	0	5.20	5.20	0	5.20	(5.20)	-	
幼穂形成期(月日)	7.01	7.06	5	6.30	7.04	4	7.03	(7.10)	-	
止 葉 期(月日)	7.18	7.22	4	7.17	7.20	3	7.20	(7.28)	-	
出 穂 期(月日)	7.27	8.02	6	7.27	7.31	4	7.29	(8.11)	-	
成 熟 期(月日)	9.24	9.27	3	9.22	9.23	1	9.26	(10.12)	-	
穂 揃 日 数 (日)	7	7	0	8	9	1	7	(7)	-	
登 熟 日 数 (日)	59	56	3	57	54	3	59	(62)	-	
生 育 日 数 (日)	158	162	4	156	158	2	160	(175)	-	
草丈(cm)	移植時	13.8	12.0	1.8	14.5	12.9	1.6	15.5	(12.2)	-
	6月20日	29.8	25.2	4.6	31.3	27.4	3.9	30.7	(32.2)	-
	7月20日	63.8	60.4	3.4	67.5	65.9	1.6	66.3	(61.0)	-
茎数(本)	移植時	1.1	1.2	0.1	1.0	1.1	0.1	1.1	(1.3)	-
	6月20日	393	331	62	401	335	66	361	(357)	-
	7月20日	697	775	78	741	777	36	755	(967)	-
葉数(枚)	移植時	3.2	3.3	0.1	2.6	3.1	0.5	2.9	(3.0)	-
	6月20日	7.9	7.3	0.6	7.4	7.0	0.4	7.3	(7.5)	-
	7月20日	10.8	11.0	0.2	10.1	10.4	0.3	10.1	(10.4)	-
止 葉 葉 数 (枚)	10.8	11.4	0.6	10.1	10.7	0.6	10.2	(11.6)	-	
成熟期	稈長 (cm)	63.4	65.8	2.4	68.8	70.4	1.6	70.5	(73.8)	-
	穂長 (cm)	16.1	16.3	0.2	15.7	16.2	0.5	16.7	(15.6)	-
	穂数 (本)	585	581	4	643	635	8	593	(661)	-
一 穂 籾 数	48.8	54.3	5.5	47.6	51.0	3.4	49.3	(46.6)	-	
m ² 当 籾 数 (×100)	286	316	30	306	319	13	292	(303)	-	
稔 実 籾 数 (×100)	266	282	16	290	290	0	284	(235)	-	
不 稔 歩 合 (%)	7.1	10.5	3.4	4.2	9.7	5.5	2.9	(22.3)	-	
登 熟 歩 合 (%)	88.5	73.2	15.3	86.2	81.4	4.8	86.0	(76.5)	-	
籾 摺 歩 合 (%)	80.6	77.4	3.2	79.3	75.4	3.9	80.0	(74.0)	-	
屑 米 重 (kg/a)	1.4	3.1	1.7	2.1	4.4	2.3	1.7	(5.3)	-	
屑 米 歩 合 (%)	2.6	5.5	2.9	3.9	8.0	4.1	2.9	(10.7)	-	
立 重 (g)	820	820	0	825	826	1	823	(832)	-	
千 粒 重 (g)	22.2	22.0	0.2	21.1	21.2	0.1	23.0	(20.9)	-	
わ ら 重 (kg/a)	50.0	54.4	4.4	52.2	55.8	3.6	57.3	(70.0)	-	
精 籾 重 (kg/a)	64.0	69.0	5.0	65.1	67.0	1.9	71.5	(59.8)	-	
精 玄 米 重 (kg/a)	51.6	53.4	1.8	51.6	50.5	1.1	57.2	(44.2)	-	
収 量 平 年 比 (%)	97			102			(129)			
玄米検査等級	2中上1中下			2中上1下			2中(3中上)			

注1)平年値は前7か年中、平成15年(最凶年)、同12年(最豊年)を除く5か年の平均値を用いた。

栽植密度:25.3株/m² 1株3本植え、 篩目: 1.90mm

登熟歩合は比重1.06の塩水で調査した。表中の 印は減又は早を示す。

注2)参考:「渡育240号」の()内の数値は平成14・15年の平均値。